



埼玉県議会議員

武内まさふみ

たけうち

県政を身近に!

2014
平成26年
夏季号

県政 報告

Vol.013

発行:埼玉県議会 自由民主党議員団

〈ごあいさつ〉

私は、皆様の温かいご支援をいただき平成23年4月に県議会議員に就任させていただいて以来、これまで全力で県政の進展に取り組んでまいりました。当地域におきましては、川のまるごと再生プロジェクトや道路整備など「元気で活力ある地域づくり」が動き出しました。引き続き2期目に向けて、活力ある毛呂山町、越生町、そして埼玉県をめざして、パワー全開で頑張ります。

毎議会後に発行している県政報告は、今回で第13号を迎えます。読者の皆様から「わかりやすい」、「県のことが身近に感じられる」などの声を頂けるようになりました。これからも、県の動きをわかりやすく伝えることを心がけてまいります。皆様のご意見、要望をお待ちしています。

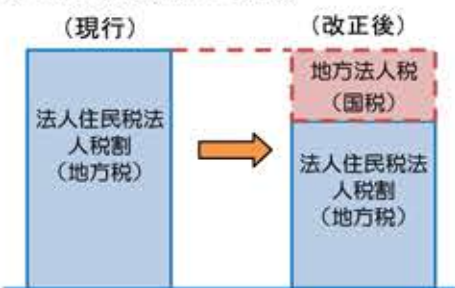
【主な条例】

● 職員の配偶者同行休業に関する条例

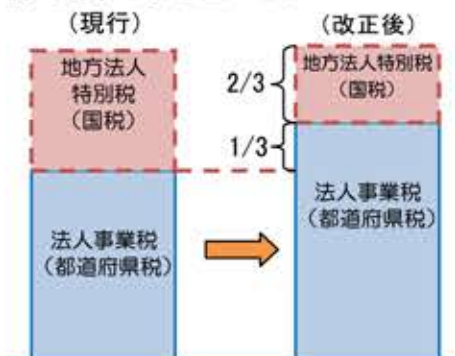
県職員の配偶者が外国勤務(6か月以上)になった場合、同行する県職員が3年間まで休業できるようにする。

● 県税条例及び法人の県民税の特例に関する条例の一部改正条例

(1)法人住民税の法人税率を引き下げ、その分を国税とする。これにより都道府県間で法人住民税の大小を是正し、地方交付税の財源とする。



(2)地方法人特別税(国税)の1/3を法人事業税(県税)へ移すため、法人事業税の税率を引き上げる。



平成26年6月定例県議会 (平成26年6月23日~7月11日)

補正予算、条例7件、工事請負契約の変更契約、中核市の指定の同意などの議案が原案通り可決されたほか、意見書8件、決議3件が承認されました。

一般会計補正予算 149億752万円

● 大雪による農業施設等の被害への追加対応 約145億5,229万円

2月14日の大雪により倒壊した農業用ハウス等の解体・撤去費用の助成、農業生産施設等の再建・修繕に要する経費の助成。当初補正予算104億円と併せて、約250億円の雪害対策予算が組まれたこととなります。



雪で倒壊した農業用ハウス

〈再建前〉



〈再建後〉

● 大雪により被災した公共施設等の災害復旧 約20億6千万円

- ◆くまがやドームの復旧
17億2,700万円の増額(平成27年度分)
利用再開時期:ドーム 平成28年4月
体育館 平成27年7月
- ◆県立学校などの教育施設の復旧
2億8,493万円

※財源は、国からのお金(約135億円)が中心で、その他は財政調整基金の繰入金と県債です。



▲雪の重みで屋根が破れた熊谷ドーム

● 母子及び寡婦福祉法の改正に伴う条例改正

- ①「埼玉県母子福祉センター」を「埼玉県母子・父子福祉センター」に改称する。
- ②県営住宅の入居予定者の選定の特例に「父子家庭」を加える。(平成26年10月1日施行)

● 指定特定非営利活動法人を指定する条例

平成25年度から、個人県民税寄付金税額控除の対象となる指定NPO法人を県が指定できるようになりました。今回1法人を追加指定し、これにより県内で7法人が指定されました。国際協力NGO・IV-JAPAN(さいたま市)(タイ・ラオス奨学金支給事業などを行っている)

中核市の指定

越谷市が、総務大臣に中核市の指定申し出をすることに同意しました。中核市の要件は人口30万人以上。中核市に指定されると開発許可や保健衛生行政をはじめ69法令事務が県から移譲されます。川越市に次いで2番目の指定。

工事請負契約の変更契約

西部地域振興ふれあい拠点施設(仮称)の工事請負契約において、震災復興の本格化の影響で労務・資材の調達などに日数がかかったため、請負金額を増額するとともに工期を平成27年1月30日から2月27日に延長しました。



▲建設中の西部地域振興ふれあい拠点施設

武内まさふみ県政調査事務所
〒350-0416埼玉県入間郡越生町越生895

TEL& FAX 049-292-2802

Email take9uch@tenor.ocn.ne.jp
URL http://www.takeutimasafumi.jp

県政報告会を開催しました

越生会場、毛呂山会場とも、予定人数を超える大勢の皆様にご参加いただきました。ありがとうございます。これからも埼玉県政の「いま」、そして「これから」を分かりやすくお伝えできるよう努力してまいります。

越生会場 5月25日(日)



▲会場からの質問を受ける武内県議

毛呂山会場 5月31日(土)



▲応援の熱弁をふるう上田埼玉県知事



▲武ちゃんマン(自分のイラスト)初公開



▲質問や意見が多く県政への関心の高さを実感

【報告会の概要】

「希望あふれる毛呂山、越生 ～みんなの想いをかたち～」

- ◆県と地域とのパイプ役としての議員活動
常任・予算・決算委員会活動、議会での一般質問、各種要望活動
- ◆約束した地域活性化の取り組み状況
 - ①県道川越坂戸毛呂山線の整備
 - ②県道飯能寄居線バイパスの全線開通に向けて
 - ③川のまるごと再生プロジェクト
 - ④商店街の活性化
- ◆3年間で6本の議員提案制作条例を制定
- ◆県資金を活用した町の事業
- ◆これからの地域活性化の課題
 - ①県道川越坂戸毛呂山線バイパスの早期着工
 - ②(仮称)新川越生線の事業化
 - ③道の駅(地域活性化施設)の整備
 - ④企業誘致(圏央道以北地域の産業地誘導)
 - ⑤八高線及び沿線地域の活性化対策 など

もっと身近に県政を 出張報告会を始めます!

皆様の地域に出向いてミニ報告会を開催します。遠慮なくお声がけください。

【連絡先】武内まさふみ県政調査事務所
TEL/FAX: 049-292-2802
携帯: 080-5035-5184

武内まさふみの活動日誌

●圏央道建設促進議員連盟の視察 (4月15日)

急ピッチで建設が進む桶川市内の高架橋工事現場を視察しました。工期を短縮するため、短い橋げたを次々につなげピアノ線で支える「バタフライウェブ箱桁橋架設」工法を採用しています。平成26年度内の完成が待たれます。



●葛貫チューリップまつり (4月20日)

地区のボランティアの皆さんが、力を合わせて手入れをしたので、色とりどりのチューリップが咲きそろいました。こうした地域の魅力を引き出す活動をこれからもぜひ続けてほしいです。



●世界無名戦士之墓慰霊祭 (5月10日)

設立から59年目を迎えた霊廟において慰霊祭の式典が行われました。夕方から、恒例の花火が霊廟のある大観山の夜空を飾りました。



●大雨による河川増水の状況調査 (6月7日)

当日は大雨警報が出されたため、予定されていた越辺川・高麗川水害予防組合の水防訓練が急きよ中止になりました。(越辺川梅林付近の様子)



●文教委員会の視察 (5月28日～30日)

ふるさとを愛する人づくりをめざした体験学習教育を進めている宮崎県五ヶ瀬町立三ヶ所中学校を視察しました。中学2年生は、東京への修学旅行の中でふるさとの特産品をPRします。その事前準備の授業を視察しました。



東武東上線大山駅前の商店街でPRを実践している中学生に再会。時間が経つにつれて大きな声が出るようになりました。(6月22日)



●八高線・川越線沿線活性化議員連盟のJR要望 (7月15日)

議連の県議会議員12名がJR東日本大宮支社を訪れ、東京オリンピック開催に際して鉄道の利便性の向上と沿線地域の観光振興の推進を要望しました。



報告会でもお配りしましたが、まだ残部に余裕があります。ご希望の方は事務所までご連絡ください。
TEL/FAX: 049-292-2802

9月定例県議会の予定:平成26年9月19日～10月10日